



あなたにとって今年はどうだったか？

平成30年も、残り10日となりました。

今日は、第2学期の終業の日です。終業式では、各学年の代表生徒と生徒会役員代表が、2学期を振り返って発表をしてくれました。2学期に頑張ったことや達成できなかったことを踏まえ、3学期はこんなことに頑張りたいと決意を述べる姿はたくましさを感じます。

学校では、学級活動などの時間を使って、2学期の振り返りをしました。学級によっては、1年間の振り返りをしているかもしれません。

では、なぜ振り返る必要があるのでしょうか？それは、自分の経験を客観的にみつめ、そこから学びを確認し来年に向けてベストな行動を選択できるようにするためです。

本日、学級担任から通知表が渡されました。各教科の評定も反省材料になりますが、所見をしっかりと読んで欲しいと思います。担任がどんなことを認めてくれ、3学期以降にどんな態度等を期待しているのかが書かれています。

3年生は、三者面談が終わり、進路が決定しました。年明け早々に私立高校入試があります。踏ん張りどころです。2年生は、大阪北部地震で延期になった修学旅行を昨日終え、疲れを残したままの終業の日でした。いよいよ来年は3年生です。門川中を引っ張っていく存在です。そのためにも、今年をしっかり振り返り、気持ちを高めてください。1年生は、中学校入学という大きな節目の年でした。来年は後輩も入学し、中堅学年として活躍の場が広がります。自分の目標をしっかりとって学校生活を送りましょう。中学校生活に慣れ、何となく過ごす毎日は避けて欲しいと願っています。

ご家庭でも、ぜひ1年間を振り返っていただきたいと思います。例えば、こんな視点で振り返ってみてはどうでしょう？

- 今年の三大ニュースは？
- 今年、成し遂げたことは？また、今年やりたかったが、成し遂げられなかったことは？
- 今年一年を一言で表すと、どんな一年だった？
- 今年、新たに学んだことは？
- 今年、出会った本、印象に残った本は？

年末、年始は、普段よりも家族で過ごす時間が多いと思います。ぜひ家族で今年一年を振り返り、来年も実りの多い年になりますようにお祈りします。

年末・年始だからこそ、生き方を考える！

先日、キャリア教育に係る研修会に参加し、企業の方の話を聞く機会を得ました。私の学びをすべてお伝えすることはできませんので、主観を入れて、話題提供を一つだけ致します。

子どもたちは、学校（中学校、高等学校、大学等）を卒業したら、必ず社会に出ます。納税の義務がありますから、必ず出なければなりません。では、その社会は、どんな社会でしょうか。それを表す言葉として、人口減少、少子・高齢化、人手不足、外国人労働者の受け入れ、AI、予測不能の社会、……。様々なキーワードが浮かんできます。「自分の時は、こうだったから、何とかなるわ。」というのは、昔の話。または、その人の努力があったから、今があるのかもしれませんが。「どこの高校に進学する？」「大学はどうする？」「将来就きたい職業は？」だけでは済まない社会が待ち受けています。学校の先にある世界を意識させる必要があるのではないかとということです。

では、私たちはそのことを子どもたちに伝え、それらに対応できる力を身に付けさせているかということを考えなければなりません。私が参加した研修会の講師の方は、部活動体験（協調性、自主性、自発性、規律、克己心、・・・）と失敗体験（失敗から学ぶ、七転び八起き、・・・）も大切であることを話されました。企業としても、その体験を積んだ人材を望んでいるそうです。学校でも再考しなければならないことが多々あると感じました。ご家庭でも、これからの世の中のこと、どう生きていくかということなど、子どもさんと語っていただくとよいかと思います。

